

第二次瑞穂町子ども読書活動推進計画進捗アンケートまとめ

(23 団体に送付、うち 20 団体から回答)

Q1. 図書館で団体貸出を利用したことはありますか。

	H30 (20 団体中)		H29 (19 団体中)		比較
はい	15	75.0%	14	73.7%	1.3
いいえ	5	25.0%	5	26.3%	-1.3

Q2. 第二次瑞穂町子ども読書活動推進計画を知っていましたか。

	H30 (20 団体中)		H29 (19 団体中)		比較
はい	17	85.0%	16	84.2%	0.8
いいえ	3	15.0%	3	15.8%	-0.8

Q3. 第二次瑞穂町子ども読書活動推進計画において期待する役割にかかる取組に対する評価

	H30 (95 項目中)		H29 (92 項目中)		比較
A (大変よくできた)	49	51.6%	29	31.5%	20.1
B (よくできた)	20	21.0%	32	35.4%	-14.4
C (ふつう)	16	16.8%	17	19.0%	-2.2
D (できなかった)	4	4.2%	5	5.4%	-1.2
E (全然できなかった)	3	3.2%	5	5.4%	-2.2
無回答	3	3.2%	3	3.3%	-0.1

Q4. Q3 に関する具体的な取組み

【小・中学校】

- ・児童のリクエスト、書評、話題性などを参考に、可能な限り現物に目を通して選書している。昨年度あたりから高学年の小型本嗜好が増えており、YA系の文庫なども加えている。
- ・絵本から読み物までいろいろなジャンルの本を揃えるようにしている。
- ・校内で推薦図書リストを作成し、それに基づき図書を購入している。
- ・教員からのリクエストや授業、学校行事に関係する資料は積極的に購入している。
- ・司書教諭の指導の下、委員会活動が活発に行われている。
- ・教員からの相談に応じ必要な資料を用意したり、ガイダンスを行っている。
- ・図書日よりで本の紹介をするほか、図書室内にもコーナーを設置している。

- ・全教員による「おすすめ本の紹介リスト」を作成し、各家庭に配布した。
- ・読書週（旬）間等の機会に、保護者・ボランティアにより読み聞かせを実施している。
- ・学校司書や図書委員による読み聞かせ、ブックトークを実施している。
- ・たんぽぽ学級の担当教員と連携し、様々な形態で読み聞かせしている。
- ・配慮を要する児童に対し、教員や学習サポーターが個別に対応している。
- ・冊数よりも年齢にあった本を選ぶこと、読んだ本を使って話をするを経営計画に位置付けた。
- ・読書週間や図書室に関するガイダンスを教育課程に位置付けている。
- ・学期ごとに読書週間を設定している。
- ・各教科の学習内容に関連する図書、調べ学習で使用する資料等について、担任と調整して準備している。

【幼稚園・保育園】

- ・園だより等で読み聞かせの大切さを伝えたり、発達に即した絵本を紹介している。
- ・園内の絵本を貸出したり、独自に教書コーナーを設置している。
- ・読み聞かせを実施している。

【あすなろ児童館】

- ・各種事業の中で絵本等の読み聞かせを行っている。
- ・幼児移動児童館でボランティアによる読み聞かせを導入している。

【保健センター】

- ・乳児（3～4か月）健診の待ち時間に読み聞かせを実施し、終了後にブックスタート絵本と啓発チラシを配布している。
- ・月に1回育児相談会場で読み聞かせ事業を実施している。

【子ども家庭支援センターひばり】

- ・乳幼児対象の読み聞かせに取り組んでいる。

【ボランティアセンターみずほ】

- ・ポスターの掲示や、グループが配布するチラシ等を印刷している。
- ・登録ボランティアグループの一覧やイベントのチラシを作成し、地域のイベントで配布したり、HPに掲載して閲覧できるようにしている。

【子育てサークル】

- ・活動日には必ず読み聞かせをしている。
- ・絵本や紙芝居のほか、エプロンシアター、パネルシアターなどを団体貸出で借りている。

Q5. Q4 以外の取組み

【小・中学校】

- ・ 百科事典・索引の引き方についてのガイダンスを実施している。
- ・ 独自に検定や表彰、チャレンジカードを作成した。
- ・ 読書集会を行い、本の紹介や読書週間のお知らせをしている。
- ・ 元狭山ふるさと思い出館と連携している。
- ・ イベントの賞品として「もう1冊借りられる券」を配布した。
- ・ 「読み聞かせキャラバン」に来てもらった。

【幼稚園・保育園】

- ・ 毎日読み聞かせの時間を設けている。
 - ・ 絵本コーナーを設置し、自由に絵本に触れることができる環境を整えている。
 - ・ 絵本コーナーの本は一時預かり保育利用者も利用できるようにしている。
 - ・ 出版社から送られてくる小冊子を掲示し、絵本の読み聞かせの大切さやおすすめ絵本を紹介している。
 - ・ 読み聞かせ推進事業を活用している。
 - ・ 課業の時間を設定し、絵本や言葉あそび等文字に触れる機会を作っている。
- 町社会福祉協議会の「よみ聞かせ事業」を活用し、職員の技術向上を図っている。

【あすなろ児童館】

- ・ 館内の図書室に子度向けの図書を常備し、季節やおすすめの本が目につくように毎月レイアウトしている。
- ・ 各学童保育クラブでも図書を常備し、定期的に更新している。

【ボランティアセンター】

- ・ 登録ボランティアグループに対する助成金制度がある。

【子育てサークル】

- ・ 無料配布（リサイクル）図書を貰い、クリスマス会でプレゼントしている。
- ・ 毎月の誕生日会に、対象児の好きな絵本を持参してもらい、読み聞かせしている。

Q6. 読書以外での子どもとの関わり

【小・中学校】

- ・ 図書委員会の補助や図書室掃除指導をしている。
- ・ 図書室で調べものをするときのサポート（手を出しすぎない）をしている。
- ・ 図書室が居心地のいい空間となるように、雰囲気づくりを大切にしている。
- ・ 子どもとたくさん会話して、流行や興味があることをリサーチしている。

【幼稚園・保育園】

- ・子どもたちが自ら考えて行動できるように言葉がけしながら活動している。話を聞く姿勢を大切にしている。
- ・戸外遊びを多く取り入れるようにしている。
- ・自然豊かな立地を生かし、しっかりと体を動かるようにしている。
- ・想像力を膨らませられるように、朗読を行っている。
- ・本の扱い方を指導し、本を大切にする気持ちを育てている。
- ・子どもの主体性を尊重し、子どものやりたい気持ちを育む保育をしている。

【あすなろ児童館】

- ・子どもの安全・安心を第一に、居場所づくりや各種事業による情操の向上に努めている。

【ボランティアセンター】

- ・夏休み期間にボランティアの体験事業を実施し、小学1年生から体験できるメニューを提案している。

【子育てサークル】

- ・公園遊びや畑での活動を実施している。
- ・季節の行事や児童館ホールで運動あそびを行っている。

Q7. 図書館への意見・要望

【小・中学校】

- ・団体貸出・返却資料の学校又は地域図書室への配送を行ってほしい。
- ・けやき館イベント等の資料を学校にも配布してほしい。
- ・地域資料を学校に寄贈してほしい。
- ・子ども同士が本を題材に話し合える機会を作ってほしい。
- ・図書館と学校のシステムを一括管理できるようになるといい。
- ・地域資料や教科書に出てくるテーマの本の複本を揃えてほしい。

【幼稚園・保育園】

- ・リサイクル情報やホームページの充実で、より便利になっている。
- ・図書館から新刊や良書の紹介があるといい。
- ・子どもたちがもっと本好きになれるようなイベントがあるといい。
- ・今後も連携していきたいので、情報提供してほしい。

【あすなろ児童館】

- ・DVDを活用したいが、児童向けのものが限られているので増冊してほしい。

【ボランティアセンター】

- ・図書の無料配布はいつも活用している。

【子育てサークル】

- ・題名も作者もわからないときに探してもらったり、近隣市町村等から取り寄せしてもらって感謝している。
- ・0～2歳くらいの子どもの向けのおすすめ絵本の紹介をたくさんしてほしい。
- ・図書館利用者のおすすめ絵本紹介があるといい。
- ・「だるまさん」シリーズの大型絵本があるといい。